

志賀直哉 没後 55 年記念シンポジウム

尾道で考える 志賀直哉・広島・ 近代という時代

文学を通して、尾道から「近代」を考える。

尾道商業会議所記念館 2 階議場
入場無料 | 定員 50 名

10/24

saturday

土曜日

10:30-16:10

広島大学文学部日本文学語学研究室・近代文学ゼミ主催

午前の部

近代文学をひらく

午後の部

志賀直哉を読み直す

特別講演 14:30 - 15:30

志賀直哉と戦争

下岡友加

広島大学大学院人間社会科学研究科 教授

専門は日本近代文学、日本語文学、ポストコロニアル批評。志賀直哉を中心とする明治・大正・昭和期の文学研究をはじめ、戦後台湾の日本語文学、日本統治期台湾の雑誌メディアなどを研究する。著書に『志賀直哉の方法』（笠間書院）、『ポストコロニアル台湾の日本語作家—黄霊芝の方法—』（溪水社）、『「台湾愛国婦人」という文学場—〈帝国〉日本のプロパガンダと女性』（三人社）など。

RELATED PROGRAM 関連企画

志賀直哉旧居 特別公開

10月24日（土）・25日（日）

10:00-15:00

文学のまち・尾道を歩く
—文学風土をめぐるガイドツアー—
10月25日（日）

ナビゲーター：

奥田 浩久

（尾道市立中央図書館長・平田玉蘊研究会会長）

吉田守

（平山郁夫美術館学芸員）

加藤慈然

（妙宣寺住職・平山郁夫平和学フォーラム代表世話人）

【詳細は裏面へ】

主催 広島大学文学部日本文学語学研究室・近代文学ゼミ

後援 尾道市／志賀直哉旧居保存活用委員会／公益財団法人平山郁夫美術館／一般社団法人尾道観光協会／株式会社尾道新聞社

場所を歩き、作品を読む。
いま尾道で、文学の未来に出会う。